



NEWSLETTER

第32号 2001年4月1日発行

歯科保健医療国際協力協議会

事務局：〒341-0003 埼玉県三郷市彦成 3-86 TEL&FAX：048-957-2268

発行：深井稜博 編集：平居夕紀子 現会員数：245名

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

国際協力の現場から1 厳冬のモンゴル行

モンゴル歯科探検隊長 黒田耕平
JAICOH副会長

モンゴルでは今冬、三〇数年ぶりの大寒波にみまわれ、一月末ですでに家畜が二〇〇万頭近く死んでいるそうです。国民生活はベレストロイカ以降混迷を極める政治経済だけでなく、ここ数年草原の大火事・ネズミの大量発生等の自然災害で激変しています。社会主義時代にはなかった貧困層・孤児の増加、そして急速な健康破壊等々。

さる一月二十八日、二月四日、八名で厳寒のモンゴルへ行って来ました。今回の目的

①「予防プロジェクト」の事後処置と②その第二回ミーティングの打ち合わせ、③エネレルスタッフとの症例検討・治療患者相談、④歯科医師会との合同セミナー…歯科医療の向上、⑤エネレル診療所の点検、⑥小学校での歯科保健予防活動：エネレルスタッフが実演、⑦エネレルスタッフへの激励と交流、⑧日本での研修生を帯同して帰国、⑨新築予定の建物の設計について

これまでの一〇年間に二〇回の現地交流活動を行ってきました。一九

九四年に開設された歯科診療所「エネレル」は、自立に向けて確実に歩み始めています。私達の活動も、初期の「日本人がやってみせる」から、「エネレル自身による全国への発信」へとステップアップしてきました。日本人が行う検診・予防活動やセミナーのあと、エネレルで郡部歯科医師へのセミナー、歯科・医科学生教育、メディアを使った啓蒙活動、学校・孤児施設等での検診・予防活動等々を自らで行っています。

特に昨年始まった「歯科疾患予防プロジェクト」は、エネレルを中心として全国規模で進んでいます。今年二月の時点で、十七県と首都合わせて三歳児一八〇〇〇人の検診・アンケート結果が集まっています。エネレルでコンピュータ入力、集計、グラフ化して今年九月の第二回「予防プロジェクト」会議・セミナーで討議する予定です。

歯科医師会との合同セミナーでは四八名もの歯科医師が参加し、予定時間を一時間オーバーしながら熱心にメモを取っている姿が印象的でした。どの歯科医師にも新しい知識や技術に対する強い学習意欲が感じられました。このセミナーは、エネレルの所長イチンホルローさんのこれ

までの活動と「予防プロジェクト」に対する評価として彼女が副会長に選任されたことにより実現しました。当初より私達の活動の目的を、「モンゴル人自身の手で国民の口腔・全身の健康を維持・増進できるように自立できること」においてきました。今確かな手応えで、その「自立」が進み始めていると思います。

国際協力の現場から2

海外ボランティアの経験から

青年海外協力隊・JICA・清水直美
シニア海外ボランティア

壮大なヒマラヤを背にした神々の国として紹介されるネパールの保健医療レベルは南アジアの中でもきわめて低く、女性の平均寿命が男性より短い国の一つである。基本的衛生知識の欠如や、保健医療サービスの不備により地域の村では毎年、下痢症、急性呼吸器感染症など予防可能な感染症でなくなっていく子供が多々いる。医療施設までのアクセスの悪さも、治療の遅れと病気の悪化を招く大きな原因である。この国の保健医療に残されている課題は、はかりきれない。

このような国ネパールを私は十六年前初めて、青年海外協力隊員とし

て訪れた。二回目はJICA結核対策専門家、今回はシニア海外ボランティア、合計三回・六年に渡りこの国で国際協力活動に携わった。

今回の配属先トリブバン大学医学部附属教育病院は、ネパールで医師教育が始まった一九八〇年、医学生や看護学生の臨床実習の場として日本の無償資金協力で建てられた。そこで看護部長をカウンセラーパートとし、看護婦の卒後教育に取り組んできた。文化や宗教、習慣の異なる所で看護に携わると、多くの不可解な事に遭遇する事がある。始めは驚き、戸惑い、そして呆れたり、諦めたりもした。しかしそれは異文化を理解していく過程のひとつであり、そんな思いの中から抜けたとき、彼らと知りあえた。このような多くの異文化体験や出会いは、私の価値観や人生観に大きく影響を与え、物事に対する考え方や対応に、多様性がでてきたと感じている。

日本を長く離れていると職場復帰が大変でしょうと、よく言われるのだが、本当に大変なのは、広がった視野をまた狭めて生活しないと、「異邦人」になってしまうのでは、という不安の方である。海外で働いた多くの人が帰国後一様に苦勞する点

であるという。

経済大国日本のマスコミが難民や途上国を紹介する時、その視点があまりにも自国を中心とした、驕りていっぱいなものを感じられることがある。そして、それを見てかわいそうだから何かお役に立ちたい、と考える人達が私には気になる。日本が抱える問題は多く、私達が他の国から教えられる事がたくさんあるという事を無視してはならない。

そんなことを考えながら、私はNGOや協力隊ネットを通し、国際協力や途上国について、広く伝えていくようにしている。

国際協力の現場から3

私がもらったもの

—ネパール歯科医療協会—
北海道大学歯学部大学院二年 伊吹直子

昨年の十二月三日から約二週間、ネパール歯科医療協会の十四次隊に参加しました。学生時代から、「将来は国際協力で何らかの形で関わりたい」と思っていたのですが、歯科医師二年目にしてその夢が叶ったのです。とは言え、国際歯科保健に関して右も左もわからない新人隊員ですから、今回は単に体験しただけと

言っても過言ではありません。与えられた仕事を一心にこなしただけで、**「ネパールの人々に私達は何をすべきなのか」ということに自分なりの答えを見つけることはできませんでした。**

しかし何事もまずやってみなければ始まらない、行動せずに論じても机上の空論に過ぎないので、**国際歯科保健活動への第一歩としてこの「体験」こそが重要だと認識しています。**また今後の活動へのモチベーションを高める重要な機会となりました。

今回は四六名の隊員が診療、健康教育、調査等の活動で合計六五八二名のネパール人と関わりを持ちました。私自身が彼らと関わったことにより、**歯科医師として、また人間としての自分の存在意義を確認する事ができました。**これは私にとって一番の収穫であり、今後日常の研究診療においての糧になるものと確信しています。

また十四次隊そのものが私にエネルギーを与えてくれました。年齢、職種を問わず、参加した隊員すべてが一致団結し、その全エネルギーが隊員個人に還元され、それが少しも消失しないような、不思議な感覚を

JAICOH NEWS LETTERは、下記の各社のご協力を得て作成されております

**11か国語対訳
歯科診療会話集**

①② 吉田けい子

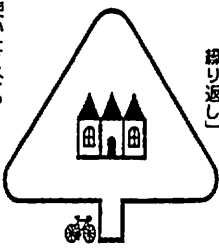
1ページ1会話文とし、約370の会話表現に「英語」「インドネシア語」「中国語」「ポルトガル語」「タイ語」「韓国語」「アラビア語」「スペイン語」「ベトナム語」「マニラ語」「シンハラ語」の訳をつけました。

●A5判414P ●定価(本体3,000円+税) ●送料340円

財団法人 口腔保健協会
TEL: 03-3947-8301 FAX: 03-3947-8073

「毎日、毎日……」
「繰り返し、繰り返し」

使いたくなる
ホームケア歯ブラシ



(ホームケア)歯ブラシ 0120-118418
株式会社 永山 FAX 0120-648581

「GC」
はじめての
コンボジット直接充填!
はじめての1液性セルフ
エッチングプライマー!

■ユニフィルF ■長期的なフッ素の徐放。
■ピタシェード9色+A08:CV。

■ユニフィルポッド
■混和不要、簡便2ステップ。
■接着性モノマー「4-MET」による優れた接着性。

株式会社 ジーシー
DICフリーダイヤル 0120-416480



ネパール・ダバケル村健康大会にて
ブラッシング指導の模型を手に

持ちました。今回、プロジェクトの真っ直中にネパール人学生による暴動に遭遇し、当初計画していた日程が短縮されたにも関わらず、私達は予定以上の仕事量を全隊員でこなしました。これは個々のエネルギーが強力な団結力を持って結集した成果だと思われま。私もその隊の一員であることに、この上ない充実感を覚えました。

私にこのようなエネルギーを与えてくれたネパールとネパール歯科医療協力会に、次は恩返しをする番だと考えています。

私自身が何をすべきか考え、それを実践する力を培うこと、これが今の私にとっての努力目標であり、そしてそれが国際歯科保健活動に生かせるようできる限り、この活動に参加し続けたいと思っています。

新加入団体紹介

日本口唇口蓋裂協会について

日本口唇口蓋裂協会
JAICOH理事 夏目長門

日本口唇口蓋裂協会は六年の準備期間を経て、平成四年一月、全国の歯科医療従事者の有志により発足しました。

国内外において口唇口蓋裂をはじめとする先天的な口腔疾患を持つ子供たちとその家族に対する様々な援助活動を行っています。

口唇口蓋裂は黄色人種によく見られる先天異常で、日本でも五〇〇、六〇〇人に一人の割合で発生しています。

国内において協会は、口唇口蓋裂など口の病気について、一人でも多くの方々に正確な知識の周知、理解を求めするために小冊子を発行し、それと同時に患者さんからの相談を受けています。また会報（年五回、うち英文一回）の発行などを行っています。

海外においては、医療体制が充分でないアジアの発展途上国を中心に二〇〇カ国において医療機材や物資などの贈与を行っています。平成十三年度は、ベトナム、ミャンマー、インドネシア、モンゴル、バングラ

デッシュ、チュニジア、中国、ラオスの八カ国に医療診療隊の派遣を予定しています。

こうした医療援助活動も本年で十年を迎えました。皆様方のお力添えにより、歯科医が中心となって発足した当協会も現在では、日本の医学部、歯学部を有する三十一大学より派遣をいただき、歯科のみならず麻酔科、小児科、脳外科、形成外科、産婦人科等、医療全般の援助活動を行うことができるようになりました。

また、一般の方々や、地域医療を担っている開業の先生方にも、広く私たちの活動をご理解いただくための資料も用意していますので、ご連絡ください。

トピック

知って、出会って、やってみて
—日大松戸国際保健研究会発足—
日本大学松戸歯学部
衛生学教室 有川量崇

家族計画を日本で推進していた国井長次郎の著作『長寿国日本—それは虫から始まった』の中に「さまざまの日本人」という一文がある。

戦後日本人が得たものと失ったものを深く考察したこの文章に出会ったのは歯科大学三年生の頃であった。

JAICOH NEWS LETTERは、下記の各社のご協力を得て作成されております

NSK ナカニシの
ハンドピースは、
世界中の先生方に
愛用されています。

NSK 株式会社 ナカニシ
〒322-8666 栃木県鹿沼市上日向340

世界の
歯科医療に貢献する

歯は幸せへの序章

きれいにそろった歯は、まさに健康へのゲートであり、幸福のシンボルです。いつになっても、さわやかな笑顔で人生を楽しく過ごしていただきたい。歯科医療に関わるものとして、

株式会社 松風
〒706-0953 広島県三原市上島町1-11-10 松風ビル内

むし歯の新しい処置と予防 全4巻

監修 長崎大学歯学部 飯島洋一

- むし歯ってどうしてできるの？
— 脱灰と再石灰化のはなし —
- おうちでできるむし歯予防
— 脱灰をふせぐセルフケア —
- むし歯のはじまり(脱灰)の処置
— プロフェッショナルケア —
- 上手につかかってむし歯予防
— 再石灰化をたすける物質 —

各巻定価 (本体12,000円+税)
4巻セット価格 (本体45,000円+税)

Dd 株式会社 デンタルダイヤモンド社
〒101-0064 東京都千代田区千代田1-14-13 領町デンタルビル
TEL 23-321-9251 FAX 03-3219-0757 <http://www.dental-diamond.co.jp/>

自分が平和に暮らしているこの日本で、家族計画、人口政策にここまで戦いがあつたとは衝撃的だった。

その時、衛生学の授業で森本基教授（現日本大学名誉教授）の国際保健の講義を拝聴し、自分の心中にあまりが灯つた。世界では現在も人口、食糧、難民、環境等多くの問題を抱えていることを理解していたが、歯科界で国際保健ができる事をその講義で初めて知った。それからというもの、海外ボランティアに参加したいという欲望が日々増大していき、衛生学の教室に暇があると通うようになった。（これが大学に残るきっかけとなった）そしてJAI COHの「カンボジアスタディツアー」の募集に出会った。

すぐに応募し、一九九四年のスタディツアーに参加することになった。事前に国際関係等の本を読み漁り、テレビ等の特集も見逃さず、カンボジアの知識を頭に入れて、カンボジア入りした。しかし、行く前に頭に入れこんだカンボジアと「生カンボジア」は大きく異なり、一秒たりとも目を離したくない光景ばかりであった。特にブロンペンで出会った裸足の男の子を決して忘れることはできない。その男の子がもっと小さな

女の子を腕に抱き、私たちに冷たい視線を送っていたのである。その視線が何をもの語っていたのか、答えは出せないでいる。これが初めて肌で学ばせてくれた場であり、人生の中で私が最も短時間で成長した時だろう。

今、私は助手として学生教育に（未熟ながら携わる身であるが、今年から「日本大学松戸歯学部国際保健研究会」を発足した。スタディツアー参加、講習会等を通じて、国際的視野をもった歯科医師、人物になることを目的としている。また学生教育のフィールドの保全やJAI COHで活動中の先生方の講習会の企画・参加等を予定しているが、とにかく国際保健を通して、楽しみたいということが本音である。

日本大学松戸歯学部国際保健研究会

「ぜひ国際保健活動をしてみたい」と、うずうずしている仲間が揃っています。参加、協力させていただける企画があれば情報をお寄せください。そして、国際保健について学ばせてください。JAI COHには、教育の場としての機能も期待しています。我が研究会をよろしく願います。

〒271-8587 松戸市栄町西2-870-1
047-360-9356
kazumune@mascad.nihon-u.ac.jp

事務局（通信）

シーズプロジェクト助成決定！

JAI COH理事 宇野公男
シーズプロジェクト担当

JAI COHでは以前より、会員が行う企画に助成をする「シーズ・プロジェクト」を行ってきましが、二〇〇一年度の助成が二月二十五日役員会にて、次の三団体に決定しました。金額としては充分ではないかも知れませんが、有効に活用していただきたいと思えます。

また、会員、会員以外の方々の当プロジェクトへのご寄付をお待ちしています。よろしく願いいたします。（担当：宇野、柴田）

100000円助成

二〇〇一年度アジア太平洋歯科学生会議日本大会

アジア太平洋歯科学生会議（APDSA） 申請者：百瀬智彦

50000円助成

「老人保健施設うららの口腔介護」 東京歯科大学国際医療研究会

申請者：中村彩花

50000円助成

「ミャンマースタディツアー」 東京歯科大学国際医療研究会

申請者：門井兼典

下記のご協力を得て作成されております

スーパーボンドは、
1982年に発売以来
基本組成を全く
変えておりません。

矯正に、補綴物の装着に
動揺歯の固定に
支台築造に、垂直破折歯の保存に
生活象牙質切削面の保護に

信頼と実績の
多目的歯科用接着材料

スーパーボンド

サンメディカル株式会社
フリーダイヤル：0120-418-303
URL: <http://taihei.co.jp/sunmedical/>

事務局が移転しました

住所：〒341-0003

埼玉県三郷市彦成三二八六

電話・FAX：〇四八一九五七二二六八

電話・FAX：〇四八一九五七二二六八

tkaikei@kai-so-net.jp

お問い合わせ：ご連絡などは

こちらにお願いいたします

JAI COH
総会・ワークショップ開催の
お知らせ

七月一日（日）東京

新世紀最初のJAI COHの仲間
が集結する会です。

皆さん奮ってご参加ください。

詳細は折り込みの別紙をご参

照ください。